

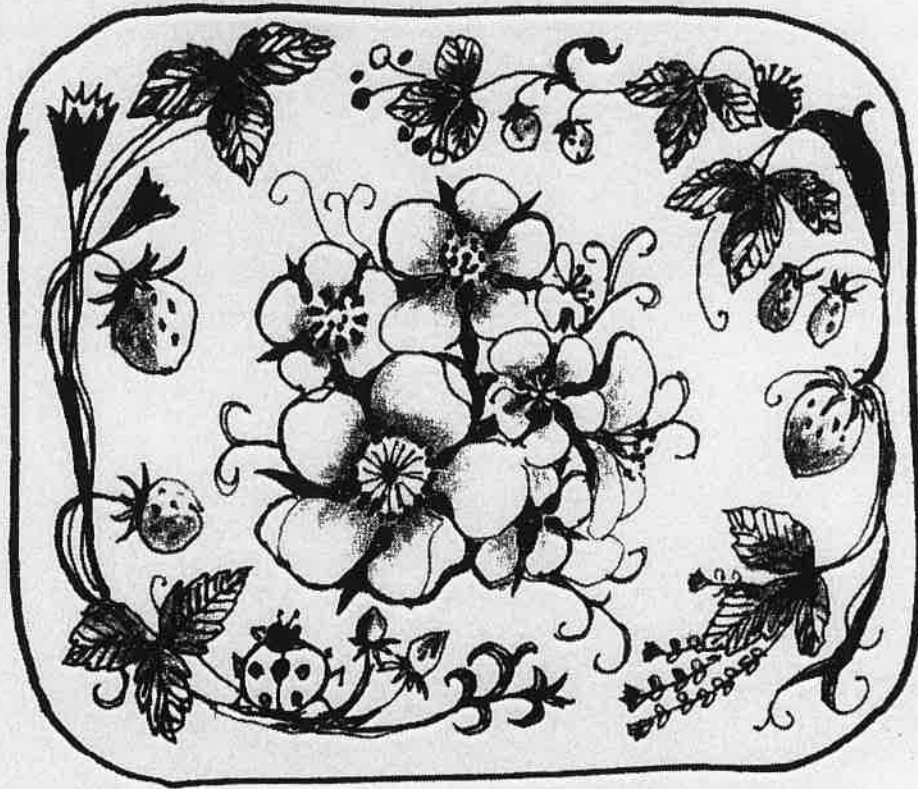
復刊第391号・令和4年3月1日発行（毎月1回1日発行）

世界の平和と
人類のしあわせを願う
大きな祈りに生きよう

宝珠

HŌ JU

3
2022



宝珠苑

世界平和の祈り

世界平和の祈りは
私達のいのちが
光り輝く祈り

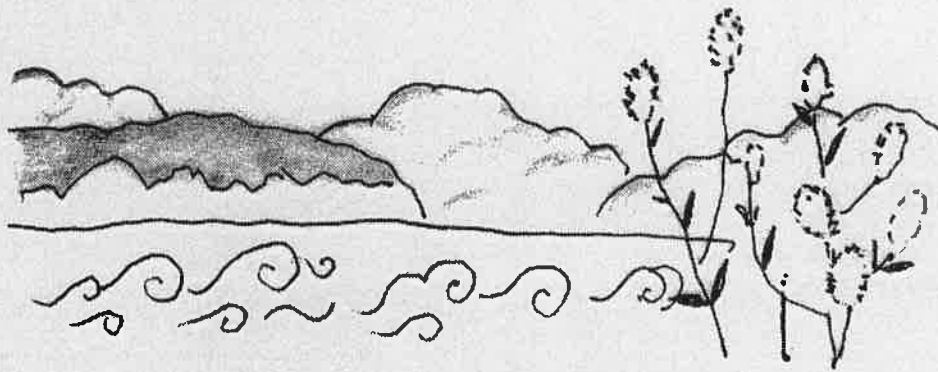
世界平和の祈りは
宇宙の大霊ご本佛様と
一つ心になる祈り

世界平和の祈りは
地球人類78億人の
幸せの祈り

世界平和の祈りは
三千大千世界の
平和の祈り

世界が平和でありますように
南無妙法蓮華經

(ていによ)



仏眼仏日

世界平和の祈りへの精進 …… 1

サハンジ・茶飯事説法

教主釈尊に侍え奉る …… 2

心の糧 日蓮聖人の御遺文を読む

日女御前御返事 (7) …… 6

こころとからだ 369

常に久遠の御本仏さまと共にあり …… 10

煌煌(四十三) …… 12

鼓動²³⁾ …… 16

宝珠HOJU 2022 3

● もくじ

日仏眼仏

世界平和の祈りへの精進

私達の人生の目標は、世のため人のため世界平和のためになって、幸せになることです。幸せになるには、天から与えられている使命・天命を完うすることです。天命を完うするためには、私達のいのちが躍動していなければなりません。いのちが躍動していくためには家庭や職場や社会が平和でなければなりません。私達の生きる環境が平和であるためには、国や世界が平和でなければなりません。平和は私達が幸せになるための基本的な条件です。

この基本的な世界人類の平和のために、大慈念をもってお働き下さっているのが、宇宙の大霊御本佛様です。「我が此の土は安穩にして天人常に充満せり」の御本佛様の大慈念と一つ心になるのが世界平和の祈りです。ですから、世界平和の祈りは、私達が幸せになる王道です。

今世界は、二つの大きな危機に直面しています。一つはコロナ禍であり、もう一つはウクライナをめぐつて一触即発の世界大戦に直面していることです。今こそ私達は、世界平和を祈って、立ち上がる時です。

78億人の人類の祈りは世界を変えます。世界が平和でありますように、南無妙法蓮華経と声高らかに唱えてまいりましょう。



サ
ハンジ
茶飯事説法

△3月法話▽

教主釈尊に侍え奉る^{つか}

定林寺院首
宝珠主幹

功刀貞如

法華經の読誦



今年の一月二十日、法華經の主な偈頌二十五万卷の読誦を終えることができました。自我偈十万卷、神力品偈三万卷等の読誦の後、觀音經の世尊偈、提婆品の竜女段、神力品別付囑段の十二万卷は家内の協力を得て、毎日三十卷ずつ読誦しました。

毎日三十卷ずつ読誦すると、一万卷読む

のに一年間かかります。したがってこの読誦には三十年かかりました。

日向山の仏舍利平和宝塔の建立に当たつて、私は日本山妙法寺の藤井日達上人の会^え下に参ることができました。オーストリアの仏舍利塔落慶式に出席した時に、「願いのある時は如説修行をなささい。如説修行をすれば御本佛様が誉めてくださる。御本



佛様が誉めてくださる時は願いは必ず叶う」という法話を聞いて、感激の涙を流しました。帰国後すぐに如説修行を始め、日向山仏舍利平和宝塔を建立し、それから三十年かかって日向山の復興を成し遂げることができました。

この度の法華経読誦行は、日向山の復興完成と、旭川御本佛平和宝塔の建立成就を祈つての如説修行でありました。

旭川御本佛平和宝塔の建立成就を祈って旭川へ御本仏平和宝塔を建立することは遠く離れた所であり、気候も厳しい所だし特に天災地変や疫病が続いている時だけに大変な浄業です。しかし平成四年に、広くて環境の良い霊地をご寄付頂いたり、授か

ったりしました。世界平和のために、日本の平和のために頑張らなくてはと決心して、如説修行に精進しています。

大事を為すには時間がかかると云われませんが、土地を寄附して下さったり、建立に協力して下さっている皆様の信仰には応えていかなければと思っています。

日蓮聖人は、末法に法華経を弘めることは難しいことだけれども、「易き^{やす}を捨てて難き^{かた}に就くは丈夫の心なり」との伝教大師の教えを重く受けとめて、法華経弘通に命を捧げられました。

日蓮聖人に導かれて、旭川平和宝塔にも取り組んで参ろうと、精進を誓っています。

三十番神巡礼



比叡山定光院で、毎朝沐浴して法華經を誦誦していた日蓮聖人の大願に歡喜して、聖人を励ますために、日本国守護の三十番神が来られたと云われます。

日蓮聖人はご入滅に当たり、經一曆を枕辺にお召しになり、「汝これから日朗を師と仰ぎ、行学の二道に励み、帝都弘通を實現してくれ」と、ご委嘱になりました。經一曆はその後日像と名を改め、修行に励み三十番神を信仰し、三十番神に護られて立派に師命を果たされました。

北海道は、日本列島を龍神になぞらえる頭部に当たります。旭川は北海道の中心そこに御本佛の宝塔を建てることは、日本の開眼になります。日本の開眼は、日本の

誓願である非戦の世界平和の實現と、核兵器廃絶の實現であると考えました。

その日本の二大誓願を實現するには、日本の神々様の代表、三十番神に祈りを捧げようと、三十番神の神社を正式参拝することになりました。一回二社ずつ、一泊二日で毎月一回、家内と二人で参拝を始めました。平成十九年九月から二年四か月かけて巡礼し、その都度「宝珠」に連載し、それを「三十番神巡礼」として出版させて頂きました。

教主釈尊に侍え奉らんことよ

建立準備を着々と進める中で、平成12年より東京赤塚七面教会と定林寺で、旭川平和宝塔に納經のための「写經会」を毎月始



めました。訓読で法華經を讀誦し、解説し
写經する会で、平成25年迄続けました。

平成25年には旭川御本佛平和宝塔建立発
願式を日向山で行い、平成27年正月建立奉
讃会が発足し、奉讃会規約、役員が決まり
浄財の勧募が始まりました。

時に新型コロナ禍に直面し、一進一退の
状況ですがその中でも浄財を途切れなく寄
せて頂いていることはありがたいことです。

文永十年（1273）日蓮聖人は、佐渡
の西郷で、「観心本尊抄」をお書きになり、
その翌月の五月に、「顕仏未来記」をお書
きになりました。その中で、「悦ばしきか
な、未だ見聞せざりし教主釈尊に侍え奉ら
んことよ」と書かれています。

久遠の御本佛様は見ることも、声を聞く
こともできません。しかし聖人は御本佛様
に實際にお侍えし、御本佛様のお声を聞か
れていました。だから「悦ばしきかな」と
悦ばれていました。御本佛様のお説法は、
法華經で聴くことができますが、御本佛を
實際に拝することができません。だから宝
塔を通して私達は御本佛様にお値いし、眼
の底に御本佛様を實在させます。御宝塔を
建立し拝する意義はここにあります。

日蓮聖人が實在の御本佛様にお侍えして
御本佛様の大慈悲心と一つ心になられて悦
ばれた心境になりたいですね。御本佛様が
旭川に涌現なさるのがたのしみです。

法華經の行者を供養すること

有る者は、ふく福ごう十号に過すぎたり



にちによごぜんごへんじ

またほけきよう

況や、父母にまされる賢王に背かんをや。何に況や、父母・国王に千百萬億倍まされる世間の師をや。何に況や、出世間の師をや。何に況や、法華經の御師をや。

黄河は千年に一度すむといへり。聖人は千年に一度出る也。佛は無量劫に一度出世し給ふ。彼には値ふといへども法華經には値ひがたし。設ひ法華經に値ひ奉るとも、末代の凡夫法華經の行者には値ひがたし。何ぞなれば末代の法華經の行者は、法華經を説かざる華嚴・阿含・方等・般若・大日經等の千二百餘尊よりも、末代に法華經を説く行者は勝れて候なるを、妙樂大師釈して云く、「供養すること有る者は福十号に過ぎ、若し悩乱する者は頭七分に破れん」云云。

(定遺一五一―二頁)

〔謹訳〕 また法華經を法華經に説かれてい
るように信行する人々も、法華經の行者を
欲や怒りや無智のために憎んだり、あるい
は世間的なことで憎んだり、また種々の行

為のために憎んだりします。これは法華經
を信じていても、信ずる心に不純なものが
ありますので、功德はありません。かえつ
て罰をこうむることでありましょう。

例えば、父母が国主に謀反を起こすことがない限り、子息がその父母に背けば、不孝者となります。かりに父が自分の愛する妻を横取りするとか、また母が自分の愛する夫を奪い取るとかということがあったとしても、子は子としての道を歩まねばなりません。若しも父母に逆うようなことがあれば、不孝の罪によって現世には天に捨てられ、後生には無間地獄に堕ちる業であります。ましてや父母よりも勝る賢王に對しては尚更のことです。更に父母より百千万億倍も優れている師匠、殊に悟りの道を教えてくれた師匠、特に法華經を教えてくれた師匠に背く者は尚更重い罪が課せられるであります。

黄河は千年に一度澄み、聖人は千年に一度現れると云われています。佛は無量劫に一度出世されます。その佛には値うことができても法華經に値うことは難しいことです。たとえば法華經に値い奉ることができても、末法の時代の凡夫が法華經の行者に値うことは大変難しいことであります。何故ならば、末法に出現して法華經を弘める行者は、法華經を説かない華嚴經、阿含經、方等經、般若經、大日經等の千二百餘尊の佛よりも勝れているからであります。

妙藥大師はそのことを「法華文句記」に「法華經の行者を供養する者は、佛を供養するよりも功德が多く、悩ます者は頭が七分に破れる」と解釈しておられます。

※ ※ ※

〔註〕貪瞋癡―三毒のことで、衆生の善心を害する最も根本的な三種の煩惱を毒にたとえたもの。貪欲（むさぼり）、瞋恚（いかり）、愚痴（無知）のこと。

かほる―こうむる、受けること。

阿鼻地獄―無間地獄のことで、八大地獄の最下位。受ける苦しみに間断のないところから無間地獄と云います。

業―行為、行動のこと。身、口、意の三種にわたる業を三業と云います。

妙楽大師―中国天台宗第六祖荊溪尊者湛然（七一一―七八二）のこと。天台大師三大部の註釈書を著した人。

十号―仏には十の呼び名があることから、

仏如来のこと。

※ ※ ※

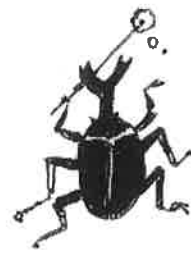
〔謹読〕この段は法華經の行者を供養する人と憎む人の功罪が説かれています。

いかに法華經を信じていても、法華經を行じる人を憎む人には功德はないと断言しています。その反面、法華經の行者を供養する人は、釈尊を供養する功德よりも大きな功德があると云われています。

日蓮聖人は「閻浮第一の法華經の行者」ですので、その聖人を供養する功德は、大きいものです。その日蓮聖人を尊ぶように、法華經を信仰する仲間、法友を尊んでいきたいですね。

常に

久遠の御本仏さまと
共にあり



七面様と世界平和の祈り (3)

(甲虫)

手ごろな櫟くぬぎの枝に懷中電灯をつるし
樹皮にキズをつけて砂糖水をぬって、
しばらく待ちます。

皆、それぞれ目あての木があつて、
その木の下で息をころし近づいてくる
力強い甲虫の羽音に耳をかたむけます。
甲虫を飼うことより捕まえることが
楽しかったのです。カナブンやカミキ
リ虫、蟬等も集ってきました。

そんなある日、ふと前方を見ると、
粗末な板が打ちつけられていた、焼け
あとも無残な増上寺の本堂が一変して
いました。

御殿のようにきらびやかで、たくさ
んの太い蠟燭がゆらめいています。

赤い衣をつけたお坊さまが、経本や
お供物を捧げて右往左往している様子
が見えました。

その時は何の不思議も感じず、ただ
ただ光りに満ちあふれた素晴らしい莊
厳な光景に釘づけとなりました。子ど
もながらに知らず知らずに合掌してそ
の有様に見とれていました。

「もう帰るよ」と友だちに声をかけ



られて、ハツとして我にかえりました。再び本堂を見ると、もとの焼けあとにもどっていました。

帰りがてら、私は友だちもこの輝やかな本堂を見たと思っていましたので、このことについて何も話をしないので私も黙っていました。そしてそのまま話をする機会はありませんでした。

（バイブルクラス）

中、高と女学校で学んだ私は尊敬している国語の先生が担当しているバイブルクラスへ迷わず入部しました。

上級生も下級生も打ちとけて、先生のやさしい人柄となごやかな雰囲気癒されていました。

先生が聖書の講義をしてくださり、荘重なオルガンの響きに合わせて讃美歌をうたったり、抜粹してくださった聖書の重要な教えを暗誦したりしました。

幼児期にキリスト教にふれた思いが入部の一つのきっかけだったのでしょうか。

今、振り返ると、真に教義の理解を深めるといふよりは、かなり薄っぺらな信仰であつたと思います。ですから洗礼まで受けて、キリスト教徒になるには至りませんでした。

つづく（清美子）



煌 煌 (四十三)

よく死ぬためによく生きる

定林寺 副住職

長坂 貞優

日朗上人開基安住坊の復興

この間、といつても一月の下旬になりますが、七面山北参道十九丁にある安住坊にお参りに行きました。久々の七面山は快く私を受け入れてくれました。

木々の香りで山務の記憶が懐かしく浮かんできました。程なく大きな栃の木が私を待っていました。私はその栃の木に手を合わせ抱きつきハグをいつもしています。

不思議なことですが、栃の木様はいつもほのかに温かいような気がするんです。大

自然力は人を癒す力を持っているようですが、真実としてそれを実感しています。やはり七面山は聖地であり、天下の大霊山であるとしみじみ思います。

任期終了後初めて行った安住坊は、本当に不気味で、どこか人の気配があつてとても恐ろしい場所のように感じました。さらに課題は山積み、何より堂内は廃棄物だらけでした。缶や瓶、以前使っていたらろく用品、先代管理者の私物、ところどころ抜けた床、障子の剥がれた戸、蛇足ですが

壊れた掃除機が三台もありました。全く頭を抱えなくなるような有様です。少しずつではありませんがそれらの片づけを、先ずは進めている状態です。牛の歩みのようですが、復興に向かってスタートしました。

私は行く度に、安住坊の御宝前にお経を上げさせて頂き、復興が順調に進むようにお祈りしています。随分長い間ほったらかしになっていましたが、御宝前だけは燦然と輝いており、その中での読経はありがたいものです。御宝前の諸仏諸天が悦んでいるように感じました。前に記したような人を寄せつけない不気味な雰囲気が、お参りを重ねる毎に薄れていつているような気がします。今後はとりあえず、中の不用品や

ゴミを片付けた後、掃除・修繕を進めていければと思っています。

死生観への取り組み

一方私には学生時代から興味を持って取り組んでいる大きなテーマがあります。それは「死」についてです。卒業論文の参考にした上原専祿先生の「死者・生者―日蓮認識への発想と視点」で、日蓮聖人の死生観を垣間見、その一端を学びました。

日蓮聖人の死生観あるいは浄土観、その最奥は非常に深く、それでありながらシンプルです。簡単に言うと「死んだら靈鷲山の釈尊の許へ行つて仏になる」ということです。このシンプルで深遠な死生観は、様々な形や言葉で日蓮聖人は信徒や檀越へ向

けて発せられています。そしてこれは、ともに日蓮聖人を師と仰ぐ私達も、日蓮聖人の死生観に習うべきであり、私達の死生観となるべきものです。

加えて聖人は、「死」というものに対して、「妙法みょうほう尼御前あまごぜん御返事ごへんじ」で「人の寿命は無常なり。出づる気いきは入る気いきを持つことなし。風の前の露たとえなお譬たとえにあらず。かしこきもはかなきも、老いたるも、若きも定めなき習ならいなり。されば臨終の事を習うて後に他事たじを習うべし」と言われています。それ故に私達はもつと「死」について学ぶ必要があると思います。

現代では、様々な学問的視点から「死」を論ずることができます。それは宗教であ

ったり、哲学であったり、文学であったり医学であったりと、私達の死への認識は、それらを断片的に集め、それぞれの認識として存在しています。「死んだらどこどこへ行くんだ」とか、「天国や地獄はこんなところである」とか、死後の認識もそうです。多様化している「死」の認識をより深く、より広く学べる本があります。哲学者ステイブン・ケイヴ教授の大学での講義を書籍化したもので、「不死の講義」という本です。

彼の主張で大変興味深いものがありました。それは「私たち人間は、死というものの主観的に認識できず、必ず死ぬとは自覚はしているものの、誰も自分自身の死を想

像できない」というのです。確かに自身が死んだ時のことを想像してみると、死んでいる状態の自分は想像できますが、主観的に自身が死んでいる状態は想像できません。さらにケイヴ教授は、「死は一般的には恐ろしいものだが、死自体は恐ろしいものではない。死に向かう際の痛みや苦しみを想像するから恐ろしいものである」と、云っています。

「死」についての認識を広く検討したこの本は、哲学はもちろんあらゆる分野で死を見つめています。死を取り扱う上で必ず登場するのが宗教です。仏教・キリスト教・イスラム教やその他土着の信仰さえも、死を検討しています。私の根源的な「死」と

いうものへの疑問が本書で少し晴れるほどでした。私はよく死ぬために、よく生きていきたいと思います。

俳句五句

横須賀市 佐々木潤子

古都の辻春の大樹の鼓動聞く

木の芽吹くひかりの中の観世音

気を込めて祈る僧の背あたたかし

賜りし記念の苗木新芽吹く

煌めきの浦賀水道春の湖

鼓

動

234

「COSMOS」

定林寺住職
七面山奥之院非番別当
日向山仏舎利平和宝塔主管

功刀貞行

有名な合唱曲「COSMOS」（ミマス作詞・作曲）をご存じでしょうか？ここに歌詞を紹介します。

「夏の草原に 銀河は高く歌う
胸に手をあてて 風を感じる
君の温もりは 宇宙が燃えていた
遠い時代のなごり 君は宇宙
百億年の歴史が
今も身体に流れてる

光の声が天（そら）高くきこえる
君も星だよ みんなみんな

時の流れに 生まれたものなら
ひとり残らず 幸せになれるはず
みんな生命（いのち）を燃やすんだ
星のように 蛍のように

光の声が天（そら）高くきこえる
僕らはひとつ みんなみんな

光の声が天（そら）高くきこえる
君も星だよ みんなみんな

光の声が天（そら）高くきこえる
君も星だよ みんなみんな

この曲を題材にして、短編アニメーション「COSMOS〜光との約束〜」が作られました。そのアニメーションを作ったのが、私の友人の近清武監督です。

自分の好きなことを学んで仕事にしたいと願いつつも、親からは堅実な道を進むようにアドバイスされる主人公ミチルは、闇の世界に迷い込んでしまいます。銀河めぐる列車に乗り込み、ミツチエルという少年に出会い、二人は旅を通じて、自身の光に

気づいていく物語です。

このアニメーションは、プラネタリウムでも上映できるように、映画のような四角い画像ではなく、円形の画像をしています。さぞかし円形のプラネタリウムで見れば、自分自身が画面の中に取り込まれたような一体感を味わえるのではないかと思いました。（残念ながら、私が見たのは、映画のスクリーンに円形に映し出された画像ですが、それでも充分素晴らしかったです）

実は、主人公ミチルには、モデルがいます。その人は、近清監督と私の共通の友人であるミチルさんです。ミチルさんは、シナリオライターとして三十年以上、第一線で活躍し、私達が見たことのある有名なア

ニメーションは、ミチルさんのシナリオによるものです。「アルプスの少女ハイジ」

「タッチ」「アラレちゃん」「るろうに剣心」等々、数え上げたらきりがありません。

近清監督は、ミチルさんとの共同作業による作品を作ろうと、お互い打ち合わせていました。が、残念ながらミチルさんは病気で帰らぬ人となってしまいました。それでも、出来上がった作品を見ながら、私には二人で作ったもののように見えてきて、その思いが胸を震わせました。まるで、ミチルさんとミツチエル（近清監督）が二人で銀河をめぐる旅をして、闇の中から光を見つけて「君は星だよ」と目覚めていくストーリーのようなものでした。

現在、学校をはじめとして、各地で自主上映が行われています。

作品を見終わった後、みんなで感想を言い合うシェア会がありました。参加していた親御さんなどの感想を聞く中で、ある五十代ほどの女性が「よく分からなかった」という感想を述べていました。確かにアニメを見ながら、「あつ今このストーリーはどういう意味なのか考えてる！考えるんじゃないかって感じなきや」と思うことがしばしばありました。それほど、大人になればなるほど、感じることで、考えることを優先させてしまうのです。

帰り際に、近清監督が私のところに来て耳打ちしました。「いろんな中学に行つて

上映会をして感想を書いてもらっているけど、分からないって言う中学生は一人もないよ。」

もちろん大人でも、このアニメを見ながら、泣けて泣けて、魂が震えて震えて仕方がないという方もたくさんいます。でも、多くの人は、心で感じ取る大事なものより、頭で考える答えに迷って、闇の世界にまぎれてしまうのです。実は、この世に闇はありません。闇とは、光が詰まりすぎている状態です。そこに少しでも空間が出来れば、光として認識できます。近清監督自身、人生で色々なショックに出会い、自らが闇の中に入ってしまったってどうにもならなくなっ

てしまいました。ついには為す術もなくなつただ闇を感じていると、そこに光があつたという経験をしています。「もしも、闇の中に光を見つけないなら、これが正解かどうか分からないけれど、私はその方法は、抵抗しないことだと思う。」と語っていました。「千里先の灯火を消してみよ」という問いに、ある人は「遠いから、時間がないから、忙しいからできない」ともってもらいたいことを言いますが、そういう言い訳のない人は、その場で息を吹きかけます。もつとすごい人は、自ら合掌した手を頭上にかかげ、口から「メラメラ」と大声を出して燃えて見せます。そうやって「自ら私は星」になることを「南無」といいます。そして、その星で世界が照らし出されます。



宝珠苑だより

(令和四年三月号)

◆旭川御本佛平和宝塔建立本願人(寄進順)

旭川御本佛平和宝塔建立に対し、全国の皆

様から尊いご協力を頂いております。今回は特別浄財寄進者の建立本願人(令和3年迄)の御芳名をご披露させて頂きます。この外大勢の皆様の浄財と合わせて、現在目標額の半額に達しようとしています。今後とも皆様の協力をお願いします。

埼玉県熊谷市・和田睦子様

南アルプス市・沢登俊輔様

東京都・(宗) 東京妙日会様

東京都・田中惣一郎様

市川三郷町・望月勇雄様

市川三郷町・遠藤ふさ子様

東京都・田中昭子様

市川三郷町・遠藤忠公様

市川三郷町・望月国一様

東京都・(宗) 東京妙日会

新潟市・前田輝美様

市川三郷町・木村亮様

坂口妙心様

市川三郷町・有野裕子様

山口県宇部市・津村文代様

東京都・鈴木園枝様

市川三郷町・芦沢茂様

東京都・磯部伸彬様

市川三郷町・切刀清美子様

市川三郷町・望月栄子様

東京都・磯部昌子様

埼玉県川口市・石黒淳明様

松本市・百瀬勝子様

神奈川県大和市・富岡初子様

山梨県富士川町・志村森男様

市川三郷町・中澤浩祐様

市川三郷町・渡邊芳久様

市川三郷町・有野健司様

埼玉県加須市・小林謙恒様

東京都・藤枝はつ子様

南アルプス市・岡貞善様

山口県宇部市・津村信明様

山梨県身延町・関マサ様

市川三郷町・井上明彦様

山口県宇部市・津村芳明様

あとがき



■「インターネットで知ったので
すが旭川御本佛平和宝塔の建立浄

財を奉納したので、くわしく教
えてください」と、ありがたい電

話がありました。宝珠の購読者で
もない初めての方からでした。宣

伝不足を反省することしきりです。

■今年一月定林寺の役員が一部改
選になりましたので、日向山仏舎
利平和宝塔奉讃会、旭川御本佛平

和宝塔建立奉讃会の役員も一部変
更となりました。定林寺役員が、
定林寺護持会、各奉讃の役員を兼
ねております。大祭等の定林寺の
行事や万灯講出張等にはお手伝い
をお願いしておりますので、よろ
しくお願いします。

■前護持会長の遠藤忠公様が2期
6年間会長を務められ、この度退
任に当たって日朝堂に灯籠一對と
正面入口に石を敷いて下さること
になりました。日朝堂の壮厳が行
われ日朝上人始め勧請の諸佛諸天
は悦んで下さっていることと思ひ
ます。ここに謹んで御礼申し上げ

ます。ありがとうございました。
■今年こそは新型コロナ疫病が収
束し、世界中に活気が取り戻され
ますように、世界平和を祈ってお
題目を唱えてまいりましょう。

宝珠 三月号 (復刊第三九一号)
令和 四年 二月二十五日 印刷
令和 四年 三月一日 発行
定価 一部 二〇〇円 (送料共)
一カ年 二四〇〇円
(毎月一回・一日発行)

編集発行人 功刀貞如
発行所 宝珠苑

〒四〇九-三三四 山梨県西八代郡
市川三郷町岩間・定林寺内
電話 〇五五六 32 二二二六
FAX 〇五五六 32 三六六八
振替 〇四二〇一五 七七九六

印刷所 株大宣堂印刷

宝珠苑

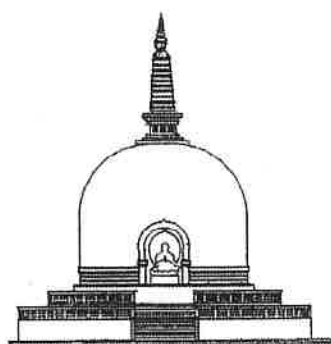
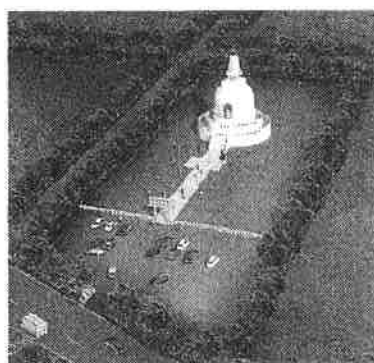
全国各聖各位

●日蓮聖人御降誕800年慶讃

御本佛平和宝塔建立浄業にご参加ください

■日蓮聖人の800年のお誕生日のお祝いに、一万人の功德主で、宇宙の大霊・法華經本門の教主釈尊像を献上いたします。

1日10円3年間功德を積んで下さい。親子兄弟・親類縁者の皆様にお声がけをお願いします。



建立計画概要

- | | |
|----------|---|
| 1、建 立 地 | 北海道旭川市神居 ^{かむい} の丘。1万坪用地 |
| 1、建立発願者 | 定林寺院首、功刀貞如
定林寺住職、日向山仏舎利平和宝塔主管 功刀貞行 |
| 1、建立協力 | 旭川御本佛平和宝塔建立奉賛会 |
| 1、総事業費 | 2億円（全額奉納浄財による） |
| 1、浄財勧募 | ①浄財寄進—1口1万円として1口以上。
②写経運動（自我偈）による納経料。
納経希望者には写経セットを差し上げる。 |
| 1、浄財奉納時期 | 完成時までとするが、なるべく早く奉納して頂くようにお願いする。 |
| 1、着工予定 | 準備出来次第とする。 |
| 1、完成予定 | 着工より約2年後 |
| 1、功德賞揚 | 浄財寄進者は、ご芳名を宝塔内に納め、建立丹精者として永くその功德を讃える。
特別寄進者は建立本願人とする。本願人は永代供養をもってその功績に報いる。 |

旭川御本佛平和宝塔建立奉讃会事務局

〒409-3244

山梨県西八代郡市川三郷町岩間 4056

宝珠苑—妙法山定林寺内

TEL (0556) 32-2226

FAX (0556) 32-3668

〔Ⅰ〕 旭川御本佛平和宝塔納経 写経のお願い

法華経如来寿量品の自我偈の真読と訓読と
お題目の写経をお願いしています。

ご希望の方には写経手本・用紙の入ったセットを
差し上げますのでご連絡ください。

〔Ⅱ〕 第44回今年度星祭り祈禱祭

日蓮宗荒行堂は、令和3年度もコロナ禍のため
お休みでしたが、星祭りは先延ばしできません
ので、今迄荒行堂を出られた修法師をお願いし
て実施いたします。

●月日ー令和4年3月13日(日)午後2時より
(くわしくは、案内状をごらん下さい) 第2部

ご 案 内

①第245回3月の日向山一世界平和・核廃絶を祈る
唱題会〔3月28日(月)ー午後1時〕於日向山

②定林寺一般信行会(お塔婆供養お施餓鬼会)
〔毎月10日午後2時〕

③定林寺青壮年信行会(お塔婆供養お施餓鬼会)
〔毎月11日午後8時〕

④(宗)定林寺東京赤塚布教所(東京赤塚七面堂)
(☎ 03-3939-2746)

◎月例祭 並 お施餓鬼会ー19日・午後1時

世界平和を祈る霊場

日向山仏舎利平和宝塔

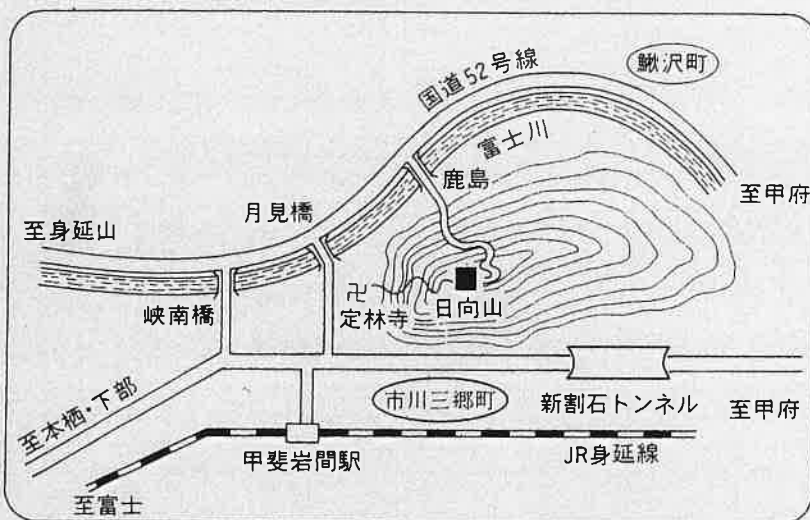
(HINATAYAMA PEACE PAGODA)

毎月28日のりの日に

世界平和・核廃絶を祈る唱題会を

開催しています

みなさまご参加ください



日向山仏舎利平和宝塔奉賛会
山梨県西八代郡市川三郷町岩間
定林寺内
電話〇五五六(32)二二二六